

雲雀

「ロード・エルメロイⅡ世の事件簿 -魔眼蒐集列車 Grace note-」 ED

梶浦由紀

♩=112

だいじなものをいつもわたしはまちが
えるのほほえみにみんななんかをかくしてるもうだれもしらないやく
そくがひとつものがたりのはじまりとおわりをつないでた
よびあっているようなひばりのこえだけとおくくものむこうへそう
げんにやさしいかげをのこしてねえほんとうはいつだってひかりの
なかにいたよねあいのかたちをみつけによくの
はねをやすめることをひば
りはしらないのひたむきなかせをえらんでてえんたかくたいようのもと
へとかけあがるようだとこどもたちがよびさしたひかりのみ
ちしるべそらへ

65

73

> *pp* *mf*

なつかしく あど けない かなしみ を すてて ゆこ う ひ と

80

すじそらへ まい あがる つばさに こころを のせて ねえ ほんとうは いつ

85

だって ひとり は さみしい から ね だいじな もの は ひとつ じゃないの

91

よびあつて いる ような ひばりの こえだけ とお く く も の むこうへ そう

96

げんに やさしい かげを の こし て ねえ ほんとうは いつ だって ひかりの

101

なかに いたよ ね たどり つきた い ところがある の あいのかたち

108

を みつけに よく の

115

122

> *pp*